

トピックス

「品質月間特集」

品質風土醸成による「ヒューマンエラー」の撲滅
株式会社 協豊製作所

（HP 寄稿通算回数）

株式会社 協豊製作所は、

- ・ 「ボデー部品事業」
- ・ 「ユニット部品事業」
- ・ 「設備事業」
- ・ 「ファクトリー事業」

という4つの事業を柱とし、そのシナジー効果を発揮することで新たな価値を生み出しクルマの革新になくはならない企業であり続けたいと考えお客様に喜んで頂けるものづくりに力を入れています。

「ボデー部品事業」「ユニット部品事業」では、品質は企業の生命線であり、

「悪いものを後工程に絶対に流さない」を合言葉に、社長主導による品質風土の醸成を行っております。

その思いを協豊グループ一人ひとりに伝えるために、「意識改革」と「知識の共有」にこだわり活動を進めてきました。

意識改革では

社内は、「毎朝」社長を含めた全工場のテレビ朝市を実施し工場だけではなく、アドミニ系職場も出席することで工場だけでは解決できない問題も「すぐ決断」、他工場への「タイムリーな横展」を図っております。仕入先様には、希薄になりがちな、エンドユーザー様の「生の声」を届け、製品を購入して頂いているお客様の講演会や品質事例展示会を開催し、積極的に参加頂くことで「クルマづくりの一員」である意識を向上させる活動を実施してきました。

知識の共有では

熟練者の対応（Know-Why）を見える化し
熟練者の技能の伝承と、新人でもミスをしない異常に気付ける技能員を育成する活動を進めています。



図1. 協豊シナジーサイクル

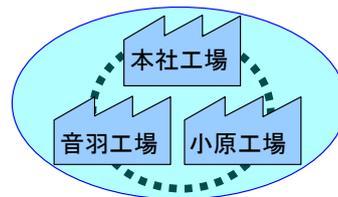


図2. テレビ朝市ネット

熟練者の対応 (Know-Why) を見える化

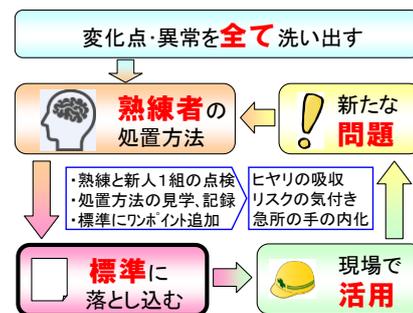


図3. 技能伝承サイクル

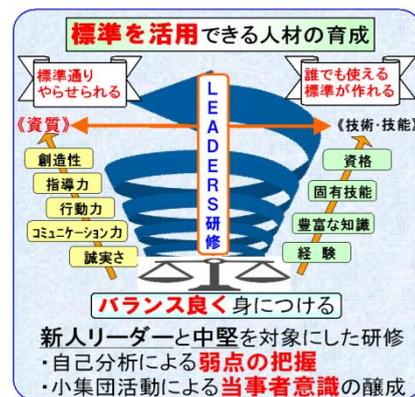


図4. リーダーズ研修

最後に

意識が改革し知識が共有されても、標準やルールを守り守らせるのはやはり人です。その教え方や教えられ方でその職場の風土が変わります。知識は伝承していくことが必要であり、それを吸収するためにはさまざまな能力が必要です。若いときから、この能力を高めるために、リーダーズ研修を行っています。

このことにより技術、技能を伝承し、より良い品質の製品を提供していきます。